

# 新製品・新事業における生産体制と販売戦略の整備

会社名 株式会社エコシステム  
 所在地 石川県能美市寺井町口50  
 従業員 8名  
 資本金 1,980万円  
 売上高 1億円  
 業種 産業廃棄物リサイクル製品の開発施工



Before

- 開発した小型の特殊生コンクリート製造プラントの事業を拡大させるとともに、建設業界の課題解決に寄与すること。(既存事業では廃瓦をリサイクルした特殊生コンを製造し道路の舗装などに使用している。橋などインフラのメンテナンスの増加、建設業の人手不足等も考慮し、一人の作業者がどこでも短時間で少量でも特殊な生コンを作れる小型プラントを開発。)

After

- 小型の特殊生コンクリート製造プラントを継続的に製造・販売していくために、協業先との関係を整理し、その関係を支える契約書の準備を行った。また、データの利活用の仕方を検討し、取説の作成、小型プラントにまつわる、特徴的な技術を守る知財戦略も検討したことで、本格的に販売活動を行っていく準備が整った。

Future

- 準備した契約書を協業先との間で締結し、良い関係性を継続的に構築・維持していくことで、同事業の生産基盤を強化し安定的なものとしていく。
- 受注確度の高い見込み顧客に対して優先的にアプローチをかけ、販売実績を蓄積していく。

## 加速的支援を受けた事業や商材

小型移動式クレーン車に搭載できる車載式の生コンクリート製造プラント「モバコン（Mobile Concrete Plant）」を開発。様々な特殊な生コン製品等を現場で正確に計量して製造し、供給することを目的に開発。

材料の計量(表面水測定)や、水＆混和剤の投入等も全て自動で行い、1バッチ当たり0.05～0.4立方メートルの間で製造可能。いつどこでどの配合で製品を製造したかがわかる、トレーサビリティが確保されたシステム。扱いやすいパン型ミキサーであり、掃除も簡単。



【出典】株式会社エコシステムホームページ  
<https://eco-system.ne.jp/mobacon/>



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデル検討	小型プラント「モバコン」に関する、3種の事業・サービスについてアイデアがあり、市場・顧客・事業計画などについて具体化していく必要があった。
販売戦略の立案	特殊生コン市場をより正確に把握し、事業計画を精査するとともに、事業成長に必要となる資金の見通しを立てる必要があった。
生産体制の確立	試作段階における装置製造の協力会社と、取得データの活用等今後の改良を含めた製品化に向けて継続的に連携していくことが必要な状況にあった。
知財リスクの確認と、知財戦略の立案	小型プラント「モバコン」の模倣に備え、知的財産権を活用した参入障壁を築くとともに、先行企業との相違点を明確にした上で権利化を図り自社ブランドの形成を図る必要がある。



## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデル検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型プラントの設計・生産等に関して、他社との分業体制について方向感をつかんだ。</li> <li>顧客カテゴリーや顧客ニーズを詳細に検討していく中で、今まで気づかなかった顧客ニーズを把握するに至った。</li> </ul>	中小企業診断士 弁理士、弁護士・ 弁理士、企業OB
販売戦略の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>徐々に販売台数を広げていくための販路開拓や価格設定の方策について検討が進み、少しづつ実践する段階に至った。</li> </ul>	中小企業診断士 弁理士
生産体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的財産の取扱いも含めた委託生産に必要な契約（製造委託、設計委託、保守契約、売買契約等）のひな型の作成に至り、契約に基づいた連携を本格化させる見通しが立った。</li> </ul>	中小企業診断士 弁護士・弁理士、 弁理士
知財リスクの確認と、知財戦略の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>特徴的な技術について、オープン・クローズの考え方に基づいて製品を強化しながら守るべきところは守ることの理解が深まるとともに、具体的な対策へと着手するに至った。</li> </ul>	中小企業診断士 弁理士

## 支援チーム紹介

主担当専門家：中小企業診断士 西井克己

活用専門家：弁理士、弁護士・弁理士、企業OB（一級建築士）

知財総合支援窓口担当者：石川県知財総合支援窓口 山岡佳代

PO（プログラムオフィサー）：塩谷良知